

すき♡スキ♡大好き

No.69

低学年・高学年合同例会

2025 年 9 月 27 日(土)

開演 18:30 (開場 18:15 / 上演 45 分)

会場 メルカつきまちホール

劇団
さんぽ



ながさき子ども劇場 広報部

〒850-0057 長崎市大黒町 4-26 北村第一ビル 303 号

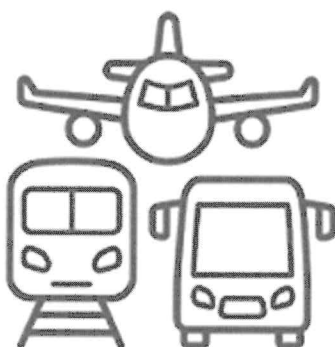
Tel : 095-825-0533 Fax : 095-825-6151

E-mail : sukisuki@bird.ocn.ne.jp

HP : <http://www.na-kogeki.sakuraweb.com/>

発行 2025 年 9 月 27 日

1. 巻頭エッセイ
2. 低・高合同例会「イノシシと月」
3. 「バウムクーヘンとヒロシマ」～ヒロシマの旅～
4. 子どもまつり
5. 長崎県子ども舞台芸術祭典
6. 高学年キャンプ
7. おやこキャンプ
8. クッキー
9. 絵本のとびら
10. 夏休みのブロック活動、編集後記



乗り物好きな息子との日々

中央ブロック 前田 日菜里

2歳の息子は車や飛行機などの乗り物が大好きです。「あれは何？」とよく乗り物の名前を聞かれますが、恥ずかしながら私が知らないものも多く、検索したり、図鑑で調べたりする日々です。

そんな日々の中、先日、以前から乗ってみたいと言っていた飛行機に乗って旅行に行きました。空港に着くと、飛行機や珍しい乗り物をたくさん見られて喜ぶ息子。私も「今から飛行機が飛ぶんだよ～」、「ほらお空飛んでるよ～」と大興奮で盛り上げましたが、機内での息子はまさかの無反応に近い冷静な様子。まだ小さくて分からなかったのかなと思いました。ところが後日、絵本を読んでいるとき、「飛行機だ」と指さし、「飛行機乗ったねー」「ママも一緒に乗ったねー」と嬉しそうに話してくれました。息子の反応はいつも予想外で、いろんな表情を見せてくれて、子育てって楽しいなと思います。

子ども劇場には我が子とともに再入会。私が子どもの頃にお世話になった方も、そして初めてお会いする方もいる中、最初からすんなり溶け込ませてもらえました。それも劇場の魅力です。子どもがワクワクすることを大人もワクワクする、そんな劇場らしさを毎回感じます。乳幼児例会でもクッキーひろばでも、中に入るのを息子は嫌がりますが、はじまったら集中して観覧し、笑顔いっぱい遊びを楽しんでいて、新しい場を経験するのもいい機会だなと改めて感じました。これからもいろんな例会や活動に参加していろんな経験を親子で楽しんでいきたいです。

舞台鑑賞

★9月例会★

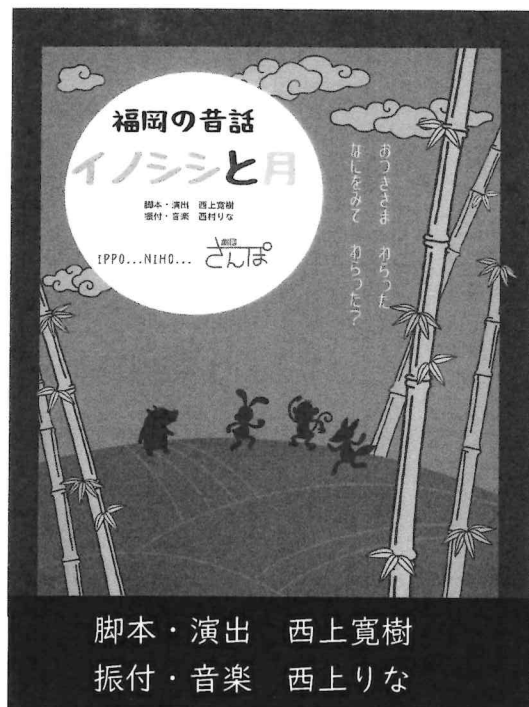
9月 低学年・高学年例会

舞台劇

イノシシと月

劇団
さんぽ

2025年9月27日(土) 開演 18:30 (開場 18:15/上演 45分) メルカつきまちホール



脚本・演出 西上寛樹
振付・音楽 西上りな

CAST

西雅子・篠原弘一・稲留沙那

みどころ

生演奏の魅力

竹を切り炙り、一つ一つ丁寧に作った竹楽器の音色はとても心地よい響きを奏でます。

大地を感じるダンス

風の音、影、月、動物、語り・・・。
3人の役者達が子ども達といっしょにお話の世界を楽しみます。

円形舞台が特徴

真ん中に演技スペースを置いて客席で舞台を囲む円形舞台です
演じる役者だけでなく、観ている人達の表情や反応も見えます。子ども達は真ん中の舞台だけでなく周りにある小道具やロープなど色んな所が気になってくるかもしれません。

福岡の劇団が

福岡の竹を使って演奏し

福岡の昔話を演じます。

登山から始まり、山で火を囲んで語り

山へ竹を切りに行く。

役者達が自然を感じ、

山から様々なことを学びながら

創りあげた作品です。



STORY

「大変だ！

お月様の元気がないらしい」

動物たちが山の広場に集まって相談を始めます。

お月様に元気になってもらおうと十五夜の晩に

出し物大会をすることにしました。

しかし、うかない顔のイノシシ。

「どうしよう、ぼくは何もできない」

ついに泣き出してしまいました。

次回例会

11/3 (祝・月) 新開港メモリアルホール

開演 11:45 (上演 30分)

ぷかぷかぽんぽん

開演 15:00

ふくろうぼや 月夜のぼうれん

高学年 11/22 (土) 長崎市民会館文化ホール 16:30～ ※小学生以上

ミュージカル イッツフォーリーズ

パウムクヘンとヒロシ

ふたつの戦争を越えたあしたへのグレートジャーニー

令和7年度長崎県芸術文化活動助成 被爆80周年特別企画

2025/8/23~24
「ヒロシマの旅」報告

イツツフォーリーズ

ミュージカル baumクーヘンとヒロシマ

九州青年交流企画 ～ヒロシマ・ナガサキの旅 vol.1～

11月特別例会「baumクーヘンとヒロシマ」は、第一次世界大戦でドイツ人捕虜となり広島にきた「カール・ユーハイム」が、日本で初めて「baumクーヘン」を販売したのが、現在の原爆ドーム（当時の広島県物産陳列館）だったという縦軸に、現代を生きる小学生・楓太がその昔検疫所があった「似島」へキャンプに行き、baumクーヘンの手作り体験や戦争と平和についてのお話を聞く中で、大好きなお菓子baumクーヘンに、ドイツ人カールさんの夢と、戦争の歴史とが繋がっていたことを知ることになる。その中では楓太のおじいさんや広島で被爆したおばあさんの体験なども語られている。歌や音楽がすばらしく、その物語が私たちの心に深く届くすばらしい作品だ。また、baumクーヘンというお菓子と「平和」が結びつくという内容も、子どもたちに届きやすい題材となっている。実際にこの作品を観てすばらしい内容だったことで、九州各地の子ども劇場と共同して取り組む事になった。

前回の九州わ・和・輪企画「12人の怒れる男たち」から九州での青年たちが繋がってきていて、今回「長崎発」での「ヒロシマの旅」を青年交流企画として取り組んだ。

1日目は、広島基町高校の「原爆の絵」を訪ねた。原爆を体験された方から当時の記憶を聞き取りながら8ヶ月もかけて描いた絵。その絵の力に圧倒された。その過程での伝える側と受け取る側それぞれの想い。写真ではない、そこに筆をおき色を重ねていく作業と共に積み重ねられたものが訴える力。絵を描いた3人の高校生の語り、その表情からその創作が一筋縄ではなかったことや、その中でたくさんの感情を経験し、考えを巡らせてたどり着いたということがひしひしと伝わってきた。

2日目は似島。猛暑の中、ガイドの方のお話を聞きながら海岸沿いを歩いてたどった。写真や絵で見たものを重ねながら、当時の島の光景を想像し、2つの戦争の歴史の中で大きな役目を果たしてきた一つの島に思いを寄せた。被爆中心部から海を挟んで8km、フェリーで20分のところにある似島、反対方向には東洋一の軍港と言われた呉が見える。昼食を取った「ユーハイム似島歓迎交流センター」は、第一次世界大戦時は「独逸俘虜収容所」、その後「第2検疫所」、原爆投下の当日からは「臨時野戦病院」となった場所。今ではきれいな施設の中で、子どもたちがスポーツやプールを楽しみその声があちこちで聞こえる場所となっていた。

九州4県から合わせて22名の参加があり、交流と共通体験ができた。やはり実際に現地に足を運び、その土地の空気にふれ、自分の頭と身体を通し感じ取る体験は大変貴重なものだ。道中や宿泊・食事を共にしながら、青年たちの仲もまた深まったようだ。

第2弾は「ナガサキの旅」。長崎公演と重ねての日程だ。九州から、そして県内から、青年たちをはじめ多くの人々が参加してくれることを思い描いて取り組んでいきたい。



～第2弾「ナガサキの旅」～

●11/22(土)13:30～15:30

公演のある長崎市民会館の大会議室にて
高校生平和大使 および
平和活動支援センター所長・平野さんのお話
と参加者交流

その後、＜本公演 16:30～18:10 鑑賞＞

＜宿泊＞長崎市三和少年交流センター

●11/23(日)10:00～12:00

被爆者・城臺 美弥子さんのお話と交流
フィールドワーク・被爆クスノキ(山王神社)



5月5日といえば～？ そう！ 子どもまつり！！

今回は室内&短時間の実施でした。が、しかし、始まってしまえば室内なんて関係なくみんな走る走る！

子どもたちはもちろんのこと、一緒に参加していたパパやママ、そしておおい子ども劇場から参戦しに来た青年たちも含めて参加者全員が全力で遊んでいました。子どもたちから「大人げないぞー！」と言われながらそれでも全力を出す大人組に、こうやって年齢関係なく全力で遊び合えるのっていいよなあと子どもまつりの楽しさを改めて噛みしめていた実行委員長でした。

子どもたちから「ひっちゃかめっちゃかやりたい！」「水合戦も！」という声がたくさん聞こえてきているので、来年はそれに応えられるよう企画しちゃいましょう！

子どもまつり 2025 実行委員長 きょーちゃん



第30回長崎県子ども舞台芸術祭典 県南地区 Ⅱ 主催 13 ステージ

「にっこりぽっかり座」劇団風の子九州

月	日	曜	主催者名	会場名	開演時間	参加人数
7	23	水	学童保育にしきたキッズ	西北・岩屋ふれあいセンター	15:00	163
	24	木	東長崎実行委員会	長崎市東公民館 多目的ホール	11:15	189
	25	金	ダイヤモンド学童保育ほしのこらんど	ダイヤモンドふれあいセンター	13:00	217

「あなたがうまれるまで」人形芝居ひつじのカンパニー

月	日	曜	主催者名	会場名	開演時間	参加人数
7	12	土	スマイル実行委員会Ⅲ	長崎市立図書館 新興善メモリアルホール	14:30	135

「サクラがいく!!」人形芝居ひつじのカンパニー

月	日	曜	主催者名	会場名	開演時間	参加人数
7	31	木	スマイル実行委員会Ⅱ	小江原地区ふれあいセンター	14:00	136

「やもじろうとはりきち」くわえ・ぱべっとステージ

月	日	曜	主催者名	会場名	開演時間	参加人数
7	26	土	日見学童保育とんねるクラブ	とんねるクラブ施設	10:00	81
	29	火	学童保育たかおクラブ	山里地区ふれあいセンター	11:00	131

「マイ・クロ・シアター」OHオフィス

月	日	曜	主催者名	会場名	開演時間	参加人数
7	18	金	時津「マイ・クロ・シアター」実行委員会	時津町東部コミュニティセンター	14:30	160
					19:00	127
	21	月	三井楽パラモンキッズ実行委員会	五島市三井楽町公民館	11:00	190
	28	月	長与子ども劇場実行委員会	長与町老人福祉センター	14:30	148
	30	水	スマイル実行委員会Ⅰ	メルカつきまちホール	11:00	156
					14:00	151

●スマイル実行委員会

【市立図書館会場（あなたがうまれるまで）】
スマイル実行委員会として初めて土曜日に親子向けに取り組みました。「キラキライちょっとスキ」から子どもたちがお二人の動きや人形の動きに反応して笑い、とてもよい雰囲気です。「あなたがうまれるまで」も見ることができました。お腹の中の赤ちゃんが「待ってる人がいるからうまれたい」と言って生まれてくるシーンに子どもたちも自分をふり返ったり、元気をもらっていたらうれしいなと思いました。

【小江原会場（サクラがいく!!）】

冒険に出る子どもを見守り応援する親の気持ちがモチーフになっているとのこと、工夫された緻密な演技でとても楽しい舞台でした。人形の動きがとてもかわいく、子どもたちもとても盛り上がりしていました。

【メルカつきまち会場（マイ・クロ・シアター）】

午前・午後ともに開演と同時に子どもたちの盛り上がりが見え、目を輝かせながらクロさんの世界にどんどん前のめりになっていく姿が印象的でした。参加の場面ではクロさんの優しさに会場が包まれていくのを感じました。学童クラブの先生からは「引っ込み思案の子どもが手をあげていてビックリしました」との嬉しい感想をいただきました。

●三井楽公演

今年 13 回目の取り組み。公演日決定は遅れたものの参加者は過去最高の 190 名。昨年からの昼間の公演に切り替え、連休の最終日、イベントの競合もなく、子ども未来課から登録者へのお知らせが出来たことでの快挙！実行委員会では来年の開催を迷っていたのもかわらず思わず「来年もまた来てね!」と言ってしまった実行委員長でした。

●東長崎実行委員会

3年連続で風の子九州の作品に取り組みました。毎年参加の東長崎地域の学童クラブ（4つ）が172名、劇場会員を含め他が17名の参加でした。日頃から子どもたちも異年齢で交わっている東長崎ブロック。今年は、ZOOM 事前、全体事後交流会ともに小さい子どもを持つ実行委員さんが参加できたのも嬉しかったです。



●時津実行委員会

小さなお子から、年配の方まで、幅広い世代の皆さまに楽しんでもいただける内容でした。実際に、昼の部に学童保育の子どもたちが鑑賞した後、その感動を伝えたのでしょうか、夜の部には、その中の一人が母親と再び訪れるほど、心に残るすばらしい作品だったと思います。昼の部、夜の部共に、みなさん笑顔で「楽しかった!!」とおっしゃって頂きました。

●長与子ども劇場実行委員会

祭典での取り組みは2回目ですが、とても人気のある作品で、今回の演目を決める話し合いでも「クロさんがいい!」「また観たい!」と声が上がって決定しました。子どもたちを前に出してくれたり、並んで体験させてもらったり、参加できる場面も多くて子どもたちは大喜びでした。途中の積み木のパフォーマンスがじっと集中する静かな時間になっていたのもよかったです。最後の光のショーは圧巻でした。





夏だ！！ そうだ、キャンプ、いこう！
 ということで今年もやって参りました、高学年夏キャンプ！
 昨年に引き続き二泊三日の日程で企画しました。

夏休みとはいえ、今の子どもたちは部活に受験勉強にと忙しく、参加者は少人数。それでも、みんなで非日常を楽しめればそれでオッケー！ と企画を詰め、ウキウキが止まらなかった実行委員長（雨女）。

結果的に、三日間とも大雨となりました。

メイン企画の沢下りにはできず、ちょっと外で遊ぶということもできず、雨が酷すぎて飯ごう炊きさんもできず、と夏キャンプとしては物足りない感じがありましたが、それでもそこは劇場の青年と子どもたち！

用意していた雨企画を全力で遊び尽くし、休憩時間には新しい劇場ダンス（？）が生まれ、謎の名言が多発し、雨が酷くなる度に「きょーちゃん、ウキウキしすぎだって～！」と実行委員長をいじり、と雨だからこそ生まれる楽しさに満ちていました。

夜は警報級の大雨に子どもたちの様子が少々心配になる場面がありましたが、当の子どもたちは「雨すごい！ きょーちゃん、夜更かしにウッキウキじゃん！」とここでも実行委員長をいじっては持ってきたボードゲームで大盛り上がりを楽しんでいたよう。

沢で遊びたかったという心残りはありつつも、でも最高に楽しかった！ とみんな笑顔なキャンプとなりました。

来年こそは……！

実行委員長となった企画の雨天率が

80%を超えた雨女

きょーちゃん



高学年夏キャンプ

2025. 8. 9～11
 in 黒木民宿キャンプ場

参加：小5①、小6②、中1③、中2①、高1①、青年④、本部②＝計14名

親子キャンプ

2025年8月23日～24日@さわがにキャンプ場

参加者 … 10世帯：大人 12名、子ども 13名(子ども班 … 7名、おやこ班 … 6名) 計 25名

参加者が少なかったので、子ども班は初めてミックスにしました😊

川の水は冷たくても子ども達はボートに乗ったり沢登りをしたり元気いっぱいです。

あそびの企画では、9月例会にちなんで竹灯籠に挑戦！

幼児も大人と一緒にノコギリで竹を切りました。とても素敵な竹灯籠が出来ました。

そして、今回は高い所からの飛び込みに挑戦！

子ども達は勇気を振り絞ってがんばりました！

子ども達を見ていると、いつの間にか仲良くなっていたり、恐る恐るブランコに乗っていたら、次第にたくさん揺らしていたり、1日目は飛び込めなくても、2日は出来たりと、この2日間で成長してるなぁ…って思いました。

今年のキャンプは、「出来た！ 楽しい！ 嬉しい！」 がたくさん詰まった2日間になりました。



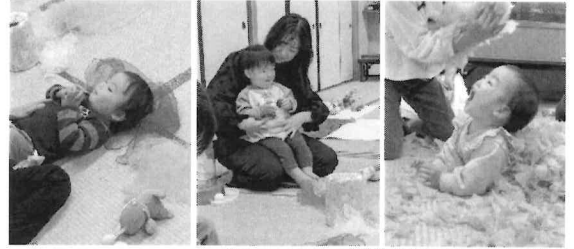
乳幼児部 クッキー

クッキーひろば

毎月1回 日曜日 10:30~14:00
諏訪小学校・学校地域交流センター
※日や会場は事前にご確認ください

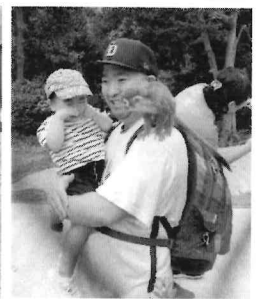
*4/13(日) わらべうたであそぼう

6月例会「ふわふわ山のわらべうた」の前の企画、みんながお家で歌っている好きな歌を披露してもらいました。1匹ののねずみが〜の手遊びうたやお顔なでなでのにんどころ、きゅうりの塩もみであちこちモミモミしたり、お家での楽しい様子が伺えました。ラストの傘ふぶきは春バージョン。ちょうちょの歌に合わせて傘をぐるぐるまわしたら見事な桜ふぶきに歓声があがりました。



*5/18(日) おでかけクッキーin バイオパーク

連日の雨にもかかわらず、この日だけ陽ざしがなく絶好の散策日和!! クッキー卒業生も参加。パパやお兄さんお姉さんはザリガニ釣りに夢中、何匹釣れたかな? リスザルに飛び乗られたり、身近に見たキリンさんにびっくり!! かばのえさやり体験をしたり、たくさんの動物たちとふれあいました。



*6/8(日) 乳幼児例会「ふわふわ山のわらべうた」(山の音楽舎)

季節のおとをじっくり楽しむわらべうたシアター月 開始前のゆったりタイムでは楽器のおとや川中さんの歌声に反応して、注目することもたち。今回は、「なつのおと」がテーマ。波の音や雨の音、かえるやでんでんむし、ほたるなどもでてきて、初めてのベビーシアターを楽しみました。終了後は太鼓やかえるの楽器に触れたり、みんなで歌ったり、わらべうたの魅力を感じる時間となりました。



*7/13(日) 水遊び in 水辺の森公園

今年は早くから猛暑日続きで、水あそびが気持ちいい!! 1才児さんはバケツで水汲みあそび。お兄さん企画の「くじびきんぎょでふんすいすい」お魚にみたてた小さいペットボトルにくじを入れて噴水と一緒に流して Get 🍷 水鉄砲的あてや金魚すくいもやりました。参加のパパからの手作りがき氷の差し入れもあり、ヒンヤリしあわせ〜🍉



参加のパパからの手作りがき氷の差し入れもあり、ヒンヤリしあわせ〜🍉





ひろせさんの 絵本のとびら

みなさんに出会ってほしい絵本、知ってほしい絵本の話を紹介していただきます**

この夏はあまりの猛暑に、秋が来ないのでは？と心配になるほどでした。
それでも彼岸花が咲き始め、朝晩涼しくなり、秋の気配が・・・。
今年の中秋の名月は10月6日。夜空を見上げてゆっくり名月を楽しんで、
わらべうた「おつきさま えらいの かがみのようになったり くしのようになったり
はるなつあきふゆ にほんじゅうをてらす」を口ずさんでみてはいかが？

◆『おつきさま こんばんは』 林 明子 作 福音館書店

紹介する必要がないほど有名で人気の高い絵本です。よく保育園の子どもたちとこの絵本を読むのですが、こんなに子どもたちを魅了する絵本はないといってもいいくらい。雲が月を隠すと一様に困った顔になり、月が顔を出すとほっとした表情になる子どもたちを見ていると、絵本の世界にどっぷりつかっているのがわかります。

裏表紙の「あっかんべー」、これでおつきさまとすっかりなかよしに。



◆『おつきさま ひとつずつ』 長野ヒデ子 作 童心社



長野ヒデ子さんのお子さんが4,5歳の時に実際に親子で交わした会話をもとに絵本ができました。

ちいさいあこちゃんがおかあさんに聞きます。

「ねえ、おかあさん、アフリカにもおつきさま ある？」

「あるわよ」

じゃあ、アメリカには？イギリスには？・・・どの国にもちゃんとおつきさまがあると知って、

「おつきさまが みーんなにひとつずつあってよかったね」と安心したあこちゃん。

「お月様は一つしかなくてみんな同じ月を見ているんだよ」と答えたくなくところ。でも、みんなにひとつずつのほうが嬉しいですね。

さて、作者の長野ヒデ子さんの講演会を開催するので、この場を借りて案内します。

絵本作家・長野ヒデ子講演会

『おかあさんがおかあさんになった日』は長崎で生まれた

10月26日(日) 10:30~11:45(開場10:00)

長崎市立図書館 多目的ホール 定員70名(先着順)お子さん連れて参加 OK

図書館のホームページに申し込み方法などが載っています。お申し込みはお早めに！

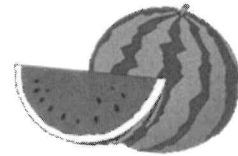


◆『お月さんのシャーベット』 ペク・ヒナ 作 長谷川義史 訳 ブロンズ新社

暑くて寝苦しい夜、「ばた……ばた……ばた」と音がして、なんとお月さんが溶けている！「えらいこっちゃ」しっかりもののおばあさんが、お月さんのしずくをたらいで受けて、シャーベットの型に流し込み冷凍庫へ。そして集まってきた人たちにふるまいます。お月さんのシャーベットのお味は？消えたお月さんのかわりはどうする？奇想天外な発想と長谷川さんの絶妙な大阪弁の訳。夏が過ぎても読みたい絵本です。

絵ではなくて、紙で作った人形をミニチュア模型のセットに入れて撮影したもの。ブロンズ新社のホームページで制作風景を記録したメイキングビデオが視聴できます。





時津長与ブロック「夏のお楽しみ会」 7/20 長与つどいの家

「子ども劇場の入会を勧めるのに、地域で会員外の人も誘えるイベントがあったらいいな。」という声に応えて始まった夏のお楽しみ会。今年の参加者は、会員・会員外合わせて72人でした。朝の11:00～夜の21:00までの長丁場、出入り自由です。

まずは、大きめのプールに水を入れて水遊び。それから竹を使った流しそうめん、トマトやきゅうりも流して食べた後はスイカ割り。今年の棒は弱くて途中でダメになりました。ちゃんと用意しとかんば！

その後は、2階で遊んだり1階でボードゲームしたり、のんびりタイムですが、なんと！林パパが氷持参でかき氷を作ってくれました！雅子さんの手作りシロップもあり、「おかわりしていい？」と、並ぶ列は途切れず、林パパは延々2時間かき氷を作り続けてくれました。感謝です。

その後は夕食のカレー作り。そこではなんと内田パパが釣ってきたイカを刺身にしてくれて、カレーを作りながらいただきました。またまた感激です。カレーを作る子、公園に遊びに行く子、肝試しで使う絵を描いてくれる子、そしてカレーを食べた後は、暗くなるのを待って肝試しと花火。ここは毎年青年が頑張ってくれています。

こうして、今年も夏休みの入りバナのウキウキした気持ちと共に楽しみ会を楽しく終えました。



<編集後記>

今年は本当に暑い日が続いています。夏バテしていませんか？世界陸上を連日観ていますが、こちらでもまた熱戦が続いています。東京オリンピックは無観客での開催。今回は湧き上がる拍手と歓声のなかでの競技。「生で観ると感激が全然違うのよね」と言って競技を観に行く友人が羨ましくも思う。

例会企画パンフを見ながら新生ブロック会、「この舞台面白かったよね。この舞台また観たい。」そしてSnow Man推しに福山推しなど盛り上がる。そうそう、だから生の舞台を観たらやみつきになるのよね。

